

膵頭部癌に対して根治手術を施行した患者さんの術前治療有無による病理学的所見
の変化についての調査

1. 研究対象 当院で膵頭部癌に対して膵頭十二指腸切除術を施行した患者さん

2. 研究目的・方法

研究目的：膵癌の手術治療に先行して、術前化学療法が一般的となりました。当院
では、2020 年 4 月から膵癌に対する手術治療に先行し、術前化学療法を標準としま
した。術前治療が生存率に寄与することは臨床試験により明らかになりましたが、
術前化学療法をすることで、なぜ生存率が上昇するのかに関しては、明らかにされ
ていない部分があります。そこで今回は、術前化学療法を受けた患者さんと、受け
なかった患者さんの病理学的所見を比較し、術前化学療法が病理学的所見に与える
影響を明らかにすることを目的としています。

研究期間：2010 年 1 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日まで

3. 研究に用いる情報の種類 以下の臨床情報を取得します。

上記研究期間に膵頭部癌に罹患し、膵頭十二指腸切除術を施行した患者さんの、病
理所見を膵癌取り扱い規約 7 版に準じて情報を収集します。

4. 外部への情報提供：2025 年 第 80 回日本消化器外科学会総会において発表する予定です。研究成果の学会発表に際しては、研究対象者皆さんの個人情報に漏れることが無いよう十分に配慮します。

5. 研究組織 長野市民病院 消化器外科

6. 問い合わせ先 本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。また、本研究の対象となる方またその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な処置を行いますので、その場合も下記へご連絡をお願いいたします。尚、研究不参加を申し出られた場合でも、不利益をうけることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点で既に研究結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できない場合もあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 臨床試験運営事務局 電話番号：026-295-1199